

「いのちと暮らしを紡ぐネットワーク」事務局の小川知子（POOL）です。

この通信は「コロワクinfoチラシ」をお取り寄せいただいたみなさまへ
一斉送信でお届けしています。

「コロワクinfo通信」vol.6

先日から重ねてお伝えしています「議員さんへのお手紙プロジェクト」「市区町村へのお手紙プロジェクト」「お医者様へのお手紙プロジェクト」について、いろんな方から様々なお問合せをいただき、私がこれらの企画の意図を、みなさまに十分に伝えられていないということに気づきました。

お電話で「カクカクシカジカなんですよ～」とお伝えすると、みなさん「あ～そういうことなんですね！」とスイッチが入って、「では、すぐに3つとも準備して郵送します！」とおっしゃられます。そのカクカクシカジカを、お伝えさせていただきます。

1 「心理ゲリラ作戦」

それぞれ、ただ単に、自分のまちの議員さんや市区町村の職員、そしてお医者さんたちに、「市民の想いやワクチンのリスク情報を届ける」ということが目的なのではありません。今回の目的は彼らに対して心理的な圧力をかけるということが最大の目的です。

これは、いわば「心理ゲリラ作戦」なのです。

- (1)市民が自分のまちの「議員全員」「市区町村の職員全員」「こどもへのワクチンを接種する医者全員」に対して、お手紙+ワクチンのリスク情報を届ける（情報を共有する）
- (2)全員に届いていることを全員が知っているという状況を作る（リスクを知っていながら止めていないという既成事実を作る）
- (3)そして、届けたことを全国の市民で共有しウオッチする（サイトに議員名簿や市区町村名や、小児ワクチン接種会場などをリンクさせる）

これは仕込みです。とにかく、仕込みをしなければ始まりません。お手紙を送ったからといって、それで彼らがすぐ変わるわけではありません。そんなことで変わってくれるような人たちなら話はもっと簡単です。陳情や行政交渉、署名提出などを経験された方は体験済みだと思います。

でも仕込んでおくと、これが後から効いてくるのです。この仕込みがあると、市民の中で気付く人が増えてきた時に、お手紙をこれらの責任ある立場の人々全てに届けてあった地域は、届けていなかった地域よりも壁が崩れやすいのではないかと考えています。

ここで、具体的な例を挙げて説明させていただきます。

前回の通信で最初に「朗報です！滋賀県甲賀市が、3月からの5～11歳以下のこどもたちへのコロナワクチン接種を見合わせているということがわかりました！」とお伝えしましたが、その後、甲賀市役所に問合せが殺到したのか、甲賀市役所の窓口の返答が「国の政策ですので、やらないなどということはありません！準備中です！」と、頑ななピリピリした感じの回答に変わったそうです。

甲賀市の仲間が「お医者さまへのお手紙」を出そうとして電話した時は（私も一緒にスピーカーで聴

いていました)、「甲賀市での5~11歳のこどものワクチン接種をする接種会場を教えてください」と質問したところ、窓口の方が「え~現在、接種会場は未定です。甲賀市では5~11歳のこどものワクチン接種をすること自体がまだ決定していないという状況でして...」というような回答でした。

以下はあくまでも、私の想像なのですが...

甲賀市議会であの一般質問が行われ、「甲賀市でのワクチン接種後の死亡者数244人」と大きく掲載してある号外チラシが甲賀市内のあちこちで、既にものすごい数配られています。ポスティングや小学生や中学生への直接配布などを続けているので、きっとあちこちで噂になっていることと思います。

そうすると、ワクチン接種をしている個人開業医は地域の人の目が怖くなってくるのではないのでしょうか？それで特に、5~11歳以下の子どもたちへのコロナワクチン接種会場として手を上げていた個人医院の方々が、「自分がちいさな子どもたちに接種して何か起こったら...」と考えて恐ろしくなり、もしかしたら次々と手を降ろされたのではないかと想像しました。みんな結局、何が怖いかというと「人にどう思われるか」です。

以上はあくまで想像ですが、これを起こしていきたいのです。まさしくこれこそが、心理ゲリラ作戦なのです。

今、全国でいくつもの市区町村の方々が、上記3種類のお手紙を全て出(そうと)しています。上記3つ共に出しておくことがとても大切です。責任ある立場の人たちが皆揃って「知っていながら止めなかった」という既成事実を作っておく、そしてそれをサイト上に掲載して、全国からウォッチする(監視する)ことが大切です。

彼らが無言の圧力を感じるように。そして作戦の2で、その圧力を現実的に増幅させていくのです。(心理ゲリラ作戦であるがゆえに、サイト上には作戦内容が書けません。笑)これから出される場合は、順番としては、1医者(毎日、実際に打っているので!)2議員(今、議会中なので!)3職員(数が多いので一番最後で大丈夫)です。1の医者ですが、「お医者さまへのお手紙」のページに「12歳~大人へのワクチン接種をされているお医者様へ」のお手紙も作成し、併せてアップしました。ぜひ両方のお医者さま達へ出しましょう。

最も責任ある立場の人、市区町村の首長と副首長へのお手紙はこれから書きます。(書き上がり次第、またお知らせします)職員に出してから大丈夫です。(「職員へのお手紙」の各課回覧を阻止されるといけないので、あえて後出しします)

*「出したいけど勇気がない...」と、名前と連絡先を書くことがネックになっておられる方、苗字しか書かないので特定などされませんし、メールアドレスも今回用にgmailなどで取得されれば良いかと思います。inochitokurashi.000@gmail.comで000に自分の市区町村名を入れれば、いのちと暮らしを紡ぐネットワークのこのまちの有志メンバーという感じになります。

あなたがほんの少しの勇気を出して行動すれば、地域の風向きを変えられるかもしれません。とりあえず、お医者さま宛にだけでもまずは出してみませんか？お医者さまならそれほど怖くはないのではないですか？(どうも心配される方々は自分が誰かに犯人探しされるのではないかと不安になられるようですが、まず誰かに対して悪いことをしているわけではありません。「知らなかったらいけないから」と情報を提供しているだけなのですから。

連絡先を書いたからといって連絡などほぼとっては来ません。私は地元の小学校19校宛に先生と職

員併せて17通ずつ届け、私のフルネームと電話番号を書いて「これと同じものを子どもたちや保護者に配布する予定です」とメモも入れましたが、1校も連絡などありませんでした。何か嫌なことが起こったら、事務局にすぐ連絡してください。でも今までそんなこと誰からも一度も聞いたことがありませんし、私ですら嫌な目に一度も会ってはおりません。これだけ顔も名前も住所も出していないながらです。考えてみてください「苗字とメールアドレスだけ」で一体何が起こるといえるのでしょうか？

2 「号外チラシ」のポスティング、あるいは地域の下校中の小学生に配布、あるいは地域の園の父兄に送迎時に手渡す

1の仕込みが終わったら、（並行して行ってももちろん構いません）号外チラシを地域の中でできるだけ多く、ひたすら、ポスティングします。号外チラシは、シンプルですがパワフルです。事実しか記載されていないチラシです。「人口9万人の甲賀市でワクチン接種後の死亡者数244人、コロナで亡くなった人は17人」「コロナが始まった2020年の超過死亡は9千人減、ワクチンが始まった2021年の超過死亡は6万人超で戦後最大」と、読めば何が起きているのかがすぐにわかります。

ショッキングな内容なので、まちで配ってもみなさん「ええ！本当なのこれ？」と驚いて必死に読まれます。数字を読み解ければ、「コロナワクチンの接種は命に関わることなのか」となります。これほどわかりやすい恐怖はありません。今、ワクチンを打とうとしている人たちの中には(1)コロナを本当に怖いと思っている人(2)仕事を続けるために打たないといけないと思っている人(3)周りの目が気になるから打つ人、が多いのではないのでしょうか。(1)の人も(2)の人も(3)の人も、このチラシを理解したら3回目接種も子どもへの接種も考え直すのではないのでしょうか。

さて、ポスティングするのは、号外チラシだけでも構いませんが、号外チラシでわかるのは、「実はワクチン接種後にもうすぐたくさんの人が亡くなっている」ということです。それがわかったら、次は「なぜ？」という疑問が湧きます。そこで「あるお母さんからの手紙」を一緒にポスティングできるなら更に良いです。

もちろん、5種セットも併せて入れられたら、それに越したことはありませんし、号外+全セットなら更に有効ではありますが、それだと1軒あたりのポスティング費用がかなりかかってしまうので、広範囲への配布が難しくなるのではないかと思います。

心理ゲリラ作戦その2としては、できるだけ多くの家に「号外チラシ」を届ける必要がありますから「号外のみ」か「号外+お母さんの手紙」のどちらかで構いませんので、とにかく広範囲にポスティングされることをおすすめします。（号外チラシやお母さんの手紙は事務局からも取り寄せられますが、PDFがサイト上にあるので、ご自宅でプリントアウトすることもできますし、個人や地域の仲間で大量に業者印刷していただくという方法もあります。業者印刷の方法は各自ネットなどお調べください。コンビニでコピーするなら事務局から取り寄せられる方が格段に安いです）

*ご自分のまちの議員さんが、もし一般質問されて、自分のまちの「ワクチン接種後の死亡者数」と「コロナで亡くなった市民の数」が明らかになった市区町村が出ましたら、そのまちの号外チラシのPDFを事務局が作成し、サイト上にアップします。そのPDFを使って、自分のまちの号外チラシを印刷し、まち中にポスティングしましょう！もう3月になりましたので、すでにどの議会でも一般質問の通告め切を過ぎていていると思います。ですから、質問してもらえる可能性は次の5月6月議会になることでしょう。それまでは、ひたすら今の号外チラシを配りましょう。

3 「地域でつながろう」

「周りに同じ想いの人が全くおらず、孤独です。同じ地域の人と繋がることができたら…」と、これまでもいろんな方からご要望をいただいております。お待たせしました。やっと、今回呼びかけをさせていただきます。

地域で繋がることができたら、上記の1、2を地域によっては協力し合える市区町村も出てくるかもしれません。大きなまちほど、送る数も多いですが、仲間がいる可能性もあります。いないならいなくて、自分がやるしかない！と逆に覚悟を決められるかも知れません。

(1)まずは「各都道府県ごとの世話人さん募集」です。

各都道府県、市区町村ごとの「今までコロワクinfoを発送させていただいた方の人数」を表にしたものを、サイトに「各市区町村別人数」という隠しページを作り、そこにPDFで添付しました。この隠しページへは以下のリンクからも飛べますし、サイトの中の「このサイトについて」のページの一番下に小さな*印がポツとありますので、そこをクリックしても飛べます。

↓

各市区町村別人数

<https://www.corowaku.info/%E5%90%84%E5%B8%82%E5%8C%BA%E7%94%BA%E6%9D%91%E5%88%A5%E4%BA%BA%E6%95%B0/>

それをご覧になっていただき、各都道府県ごとで「世話人をしてもいいですよ」という方は、tsunagarou47@gmail.com あてに件名：「世話人OK」、本文：「名前、住所、電話番号、メールアドレス」を記載して送信してください。（そうでない方は今回は返信しないでください。事務局がパンクしますので）

(2)「世話人をしてもいいですよ」という方がお一人でも現れた都道府県から（複数人いらっしゃった場合には、最初に連絡いただいた方をお願いします）すぐにその都道府県の方々全員に世話人さんの方のお名前とメールアドレスをお伝えしますので、世話人さんに直接、「〇〇県つながりの場に参加希望」という件名で「名前、メールアドレス、番地の手前までの住所、メッセージ」を記載したメールを送っていただきます。事務局がお手伝いさせていただくのはここまでです。

(3)世話人さんは、希望された方々のリストを作成し、できあがったら、そのリストをメールで全員に送ります。あとはそのリストをみて、各自が互いに連絡を取り合って、つながっていただけたらと思います。つながりの場ができましたら、交換ポスティングや依頼ポスティングなどもしやすくなるかと思えます。

皆さんが仲間を見つけ、励まし合い、協力し合うための場づくりです。事務局も各地域の世話人さんも、トラブル対応まではお世話できませんので、各自、良識のあるやり取りをお願いいたします。何か別の活動やグループへの勧誘などはなさないようお願いいたします。また、たとえワクチン関連の情報であったとしても、一方的に情報をそのリスト全員にどんどん送られるなどの行為もされないようお願いいたします。もしそのような行為が見受けられましたら、皆さんで注意し合うようによろしくをお願いいたします。

また今後も、各地域で新しく取り寄せられる方が出てこられると思います。そんな時には「つながりの場に参加したいかどうか」を事務局が伺い、希望されれば、世話人さんにおつなぎさせていただきます。

現時点での全国47都道府県、市区町村別の「コロワクinfoチラシを取り寄せられた方の人数表」を添付しております。

人数は延べ人数ではなく実数です。2022年3月1日現在で、47都道府県全て、423市区町村から、

953名の方がお申し込みをしておられます。もし、ここにあげている市区町村だけでも「お医者様へのお手紙」「議員さんへのお手紙」「市区町村へのお手紙」が届けられたら...と想像してみてください。今、自分に何ができるかを考えて、みんなでアリさんのように動いて参りましょう。

お問合せフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S54890186/>

コロワクinfo通信のバックナンバー

<https://tsumugu.life/acmailer3/backnumber.cgi>

配信停止はコチラから

<https://tsumugu.life/acmailer3/reg.cgi?reg=del&email=info@tsumugu.life>

いのちと暮らしを紡ぐネットワーク

事務局：小川知子（POOL）